



# フクシマの子どもの未来を守る家

ニュース No. 47 16/4/25 発行

- 4/16(土) 鳥居町ハウスの掃除を行いました。(サポーター3人参加)
- 4/17(日) 雨の中でしたが谷定ハウスの雪囲い撤去と窓ガラス拭き、室内清掃活動を行いました。
  - ・ボランティアさん2人、サポーター5人参加
  - ・4/20~4/21 簡易水洗トイレ施工工事(青山工管さん)
  - ※GWからフクシマの家族に気持ちよく使っていただけます。
- 3/13(日)・4/9(土)「追跡!真相ファイル 低線量被ばく 揺らぐ国際基準」
  - ・録画上映会(参加者のべ17人) (2011年12月NHK放映)

## 追跡!真相ファイル「低線量被ばく 揺らぐ国際基準」の感想☆

◆国際基準には特に根拠がなかったと聞いて驚いた。

基準の5分の1の線量の地区でもガンが30%以上増えていた!

ICRP(放射能のリスク基準を決める機関)の基準が甘くなった背景に核施設等への「配慮」があったと。

子どもにはさらに厳しくすべきなのに、一般向けの数値を子ども対象にして、原発作業員の基準をさらに甘くしてしまったとは驚きだ。

ICRPの経済的バックが各国の原子力研究所から出ているとは!?

◆ICRPの基準の中で低線量に対する被ばくのリスクが半分になっていることを初めて知ったのと、原発などの労働者に対するリスクはさらに5%も引き下げられているのには本当に驚いた。

今回の映像の中では、スウェーデンとアメリカの事が流れているが、チェルノブイリから1500kmも離れているスウェーデンでもガンが増えている事、アメリカのイリノイ州には3つの原発が近くにあるだけでも住んでいる子どもたちのガンが増えている事。この話を聞くと福島原発はあるだけでなく、事故で爆発をしたのだから、とてつもなくおそろしい事だという事を、もっともっと多くの人に知らせないといけない。

低線量という言葉を知ると、体への影響も少ないように感じるが、そうではなくて、いくら低線量でも被ばくは被ばく、必ず何らかの影響が体に現れるはず。

## ☆ 4月・5月の予定 ☆

●4月29日（金・祝）～5月8日（日）：フクシマから4家族「守る家」利用、3軒の「家」稼働予定

● 5月1日（日）：磯遊び（庄内浜）

※参加希望者は、白幡か高橋まで！

●5月22日（日）：第5回総会

※13時半開会(13時受付開始)～16時半まで 第3コミセン第一和室にて

※サポーターの皆様は、万障お繰り合わせの上、お集まりください。

